

やまもも

稲沢市立大里東中学校学校だより
令和6年2月吉日 第195号
編集・発行 長澤 辰夫

春をイメージする美しい言葉 「佐保姫」

奈良で長く暮らすことがあった自分ですが、この言葉は初めて知りました。奈良市街の東に佐保、佐紀という地区があります。住宅街に古いお寺や神社、古墳が点在する歴史的な地区です。「佐保姫」(さおひめ)とは、佐保山や佐保川に住む女神で、日本の春を司る女神だそうです。「佐保姫」は、霞の衣を織り、柳の糸を染め、花を咲かせる女神です。この地区では、山々の裾野にうっすらと広がる「春霞」のことを「佐保姫」が纏う、白く柔らかな着物の裾に例えました。佐保山は古くから桜の名所として知られ、春を司る神霊が宿していると考えられ、「佐保姫」が信仰されるようになったそうです。

心に残るよい卒業式でした！

3月6日(水)、3年生が巣立っていきました。保護者の皆様の卒業生への心のこもったメッセージが会場に花を添えていました。心配していた天気も。開式と同時にあがり、卒業生が退場する頃には、太陽が顔を出し、天も子どもたちを祝福しているようでした。

卒業証書を受け取る子どもたちの笑顔になんとも言えない、幸せな気分になりました。在校生も立派でした。しっかりした身なりと姿勢で長時間過ごす姿は、頼もしい限りです。子どもたちの心から発せられた歌声に、目頭が熱くなる自分がいました。



防犯訓練をしました！

3月8日(金)、コロナでなかなかできなかった不審者侵入に対する訓練を、稲沢警察署のご指導の下、全教職員で行うことができました。はじめに、授業中に不審者が教室に侵入するという想定で、生徒の避難のさせ方、不審者に対する教員の対応の仕方、職員室への応援要請の仕方、職員室での110番対応の仕方を確認しました。その後、不審者の制圧のための刺股の有効な使い方を教えていただき、実践練習を行いました。自分が訓練を受けたころと変わったところがあり、定期的に訓練することの大切さを実感しました。あってはならないことですが、子どもたちの安全を第一に考え、万が一に備えていきます。

